

おもちゃサロンで 楽しく遊ぼう



就学前の乳児・幼児を対象に、子育て中の親子の居場所づくりとして、また保護者同士の交流の場として開催しています。

子育てに関する相談や専門の講師による子どもの健康についてのお話、絵本の読み聞かせ、運動や手遊びなども行っております。

福祉を高める会のボランティアがお世話をさせていただきます。お気軽においでください

★楽しいおもちゃがたくさんありますよ★

対象：保育園や幼稚園などに通っていない就学前の乳幼児とその保護者

日時：毎月 第三火曜日

午前十時～十一時三十分

場所：新涯公民館 会議室



今年度内は、二月十八日と三月十七日に実施です。

お待ちしております。

くわい喫茶サロン

で楽しいひと時を過ごしませんか！



「くわい喫茶サロン」は、開設以来、地域の方々の暖かいご支援とご協力のもと、多くの方々にご利用いただいております。

しかしながら、最近では、利用者が固定化傾向にあり、サロンに新しい風が待たれております。

みなさんも、ほのぼのと暖かさを感じる「くわい喫茶サロン」で新しい風になってみませんか。

日々の買い物や散歩の途中、お一人でも、また友達と一緒に、美味しいコーヒーを飲み、「くわい喫茶サロン」へ是非お立ち寄りください。

楽しくお話ししたり、参加している人の話を聞いたりして、新しい発見、楽しみが増えるかも知れませんよ。



★毎週 水曜日午前九時三十分～十一時三十分まで
新涯公民館の実習室で開店しています。
ぜひ一度おこしください。お待ちしております。

スタッフ一同

防災について思うこと 「一人ひとりの命を誰がどう守るか」



高度情報化社会にあって、必要な情報は時間・距離を超えて、いつでもどこでも、誰でも取得することができる。防災に関する情報も例外ではなく、最近では早く、正確に、より詳しくなっていると聞いても過言ではない。しかし、その情報を受けて積極的に避難等の行動に移す人はどの位いるだろうか。被災者の中には、防災施設・設備の不十分さや情報提供の遅れなどを理由に国を始め行政や関係機関に責任を押し付けようとする人もいる。そういう人たちの多くが、実は、避難勧告が出されても何もしない、動こうともしない。前日からテレビでアナウンサーが「自分の命を守るための行動をとるように」何度も何度も呼びかけているにも拘らずである。また、動いても、車で避難したために、渋滞に遭い水に呑み込まれたという例もある。

「災害はいつでも起こり得る。」という考えのもと、自らが情報を的確に捉え、自らの責任で素早く判断し、適切な行動をとることが最も重要である。そのためには、いつ、どこで、どんな災害が起こるか、その時どう対処するか、家族みんなで話し合い、その準備だけはいくらしておいても必要がある。夜と昼でも、また曜日によっても対応が異なるはずである。車は使えない、携帯電話は通じないことなどを前提条件に、色んなケースを想定して、その時、どう連絡を取り合うか、待ち合わせる場所はどこにするかなど、家族で共有しておかなければならない。

災害対応は、他人事ではありません。自助、共助、公助といわれているが、まずは自分の命を守る、家族の命を守ることが最も大事であることは論を待たないところである。

なお、自分や家族に余裕が出た段階では、近隣にも目を向けていただきたい。

新涯学区の福祉を高める会

山崎 昭孝